

オーディオ実験室収載

ターンテーブルアキュライザーの導入(2)

—LINN LP12 への適用(1)—

1. 始めに

インフラノイズ社から、ターンテーブルアキュライザーTACU-1 が発売されたとの情報を入手し、前報(1)の計画に従って評価をしていきます。手始めに LINN LP-12 に使用してみます。

2. ターンテーブルアキュライザーTACU-1 の試聴方法

LINN LP-12 の再生の現状は下記のとおりです。

[LINN LP-12 の再構成\(32\)](#)

[LINN LP-12 の再構成\(34\)](#)

LP-12→ZANDEN Model 120(バランス入力)→Brooklyn DAC+(Line 入力)→
TruPhase

カートリッジは MySonic Signature Gold、アームは Glanz MH-9Bt、トランスは ZANDEN Model120 の内蔵トランスで、フォノステージは ZANDEN Model120 へのバランス入力です。

さらにターンテーブルシートは Elesta の静電気除去シートをしいた THE FUNK FIRM の Achromat (白色) を、スタビライザーは水準器付きのステンレス製のものを、インシュレーターは ZANDEN ZVA-1 を使用しています。



このスタビライザーを外して TACU-1 に交換します。



音源は聴きなれた下記を使用します。

ARCHIV 28MA0020

J.S.バッハ チェンバロと弦楽のための協奏曲 BWV1052・1053・1054

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュコンサート

ドイツグラモフォン MG8333/4

ニコロ・パガニーニ 24の奇想曲

サルヴァトーレ・アッカード (Vn)

CBS SONY SOCL 36 Horovitz on Television

フレデリック・ショパン Polonaise in F-Sharp

Nocturne in F

Ballad in G 他

ウラディミール・ホロヴィッツ(pf)

TOKYO FM TFMLP1051-1053

J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲

ピエール・フルニエ (Vc)

3. ターンテーブルアキュライザーTACU-1の試聴結果

上記の音源はいずれも再生上なんらかのハードルがあるもので、チェンバロと弦楽のための協奏曲とは24の奇想曲はTELDEC、逆相、第4時定数Highで、Horovitz on TelevisionはColumbia、逆相、第4時定数Lowで、無伴奏チェロ組曲はRIAA、正相、第4時定数Midで聴いていきます。

上記のスタビライザーを外し、インフラノイズのHPにも掲載されている付属の取り扱い説明書に従ってTACU-1をセットします。

チェンバロと弦楽のための協奏曲は、バロックアンサンブルの古楽器のエッジが鋭くなりすぎず、解像度を維持しながら、チェンバロとバロックアンサンブルの品位を再

現することがポイントです。上記スタビライザーの状態でも、カルーセルやヴォリュームアキュライザーなどの効果で、明晰で切れ味の良さなど、十分満足すべきレベルですが、TACU-1を適用しますと、明晰さを失わずに、より響きが豊かになり、チェンバロを中心としたアンサンブルの良さが感じられてきます。

24の奇想曲は何と言ってもパガニーニらしい鋭く切れ味のあるボウイングがヒステリックにならずに細かいニュアンスが表現できることがポイントです。上記スタビライザーの状態でも、切れ味の良い表現など、十分満足すべきレベルですが、TACU-1を適用しますと、速いパッセージの細かい擦弦音が再現されますし、ゆったりとしたパッセージの微妙なボウイングの表現がリアルです。

Horowitz on Television は、ホロヴィッツの鋭い打鍵が余分な響きを伴わず、うるさくならないことがポイントです。上記スタビライザーの状態でも、打鍵の鋭さなど、十分満足すべきレベルですが、TACU-1を適用しますと、ピアノッシモが明瞭になり、フォルテッシモの高域の騒がしさや低域の余分な響きがなくなり、よりホロヴィッツのピアノズムの神髄が捉えられやすくなります。

無伴奏チェロ組曲は、ライブ録音のチェロの擦弦音や胴鳴りがリアルに捉えられるかどうかポイントです。上記スタビライザーの状態でも、チェロの音色など、十分満足すべきレベルですが、TACU-1を適用しますと、チェロのざらつき感がなくなり、より滑らかになるとともに胴鳴りもリアルになって、丁寧に弾いているかのように感じられます。

LINN LP-12 においては、[LINN LP-12の再構成\(23\)](#)と[LINN LP-12の再構成\(24\)](#)で報告しましたように軸受けのカルーセルキットへの交換をおこなっていることから、回転は滑らかになっており、あるいはTACU-1の効果はそれほどでもないかと思っておりましたが、上記のようにしっかりと効果を確認できました。

4. まとめ

LINN LP-12のシステムにおいてそれぞれ再生上ハードルのあるアナログ盤においてTACU-1の効果を確認しました。

以上